

# もみじ祭り通信

最終号

平成 30 年

12 月 7 日発行

大川高校地域活性化  
プロジェクト印刷班

## もみじ祭り 開催

11月25日、晴天のもと、もみじ祭りが行われた。紅葉のピークは少し過ぎていたが、祭りの熱気は、もみじの赤さよりも熱く盛り上がった。本校生がもみじ祭りに向けて取り組んできた成果が実った日であった。私たちの伊佐への好感度が急上昇↗

### <感想>

#### マネジメント班

- 多くの人と関わりをもつことができ、一つのことを成功させるために全員でやり遂げることができてよかった。
- 生徒同士の連絡が十分にとれず、また、計画通りに進められなかったところもあったので、来年は改善したい。

#### ステージ班

- ステージのプログラムを作る難しさ、楽しさを学ぶことができた。
- プログラムづくりは思っていたよりも難しく、大変だった。でも、お客さんが笑顔で見えてくれるのが、嬉しかった。

#### イベント班

- 班員同士での情報共有が不十分なところがあった。
- 準備を本番ぎりぎりまでしていたので開始時間が少し遅れてしまった。
- お客さんの笑顔を見ることができ、ぬり絵ラリーができてよかった。

#### フード班

- もう少し早く活動を始めて計画通りにすすめて、大人の方々と連携をとっておくべきだった。
- 初めての作業で緊張して、難しい部分もあったが、食べてくれた人の笑顔が嬉しかった。

#### 印刷班

- 「もみじ祭り通信」をつくるにあたって各班の進み具合の確認などが大変だったが、多くの人から「いいね」などのお褒めの言葉をいただいて、励みになった。
- パンフレットを製作するにあたり、各班との協力を必要とすることが多かった。
- もみじ祭り当日に、たくさんの人に、パンフレットを受け取ってもらえることができ、嬉しかった。



#### アート班

- 掲げているスローガン「伊佐市に力を～四季を表す～」をみんなで協力し、パネルに表現できた。
- ステージを見ているお客さんを楽しませるようなものめざし、絵を明るい色調に統一するようにした。難しい所もあったが、思ったよりも上手に描けて、よかった。

#### <大川高校生ステージでも大活躍>

##### 書道部による書道パフォーマンス



「曾木の滝と明治維新」をテーマに発表



#### <日本大学の森真央さんから大川高校生へのメッセージ>

大学側のプロジェクトマネジメントを行っている日本大学大学院の森真央です。大学4年生の時から参加し、3年目にして初めて晴れとなり、今までにない来場者数に驚きました。プロジェクトの参加者も年々増加し、会議室が手狭に感じ、嬉しい悲鳴を上げていました。毎年、各班それぞれの課題に直面しつつも、11月に入ってからの追い上げに関心していました。やる気に満ち溢れる高校生に感化されつつ、大学側もサポートできたのではないかと考えています。本プロジェクトを通して、皆さんが地域を知り、関心を持つことができれば幸いです。プロジェクトで学んだことは、今後の糧や励みになると思うので、また参加する機会があれば、ぜひ参加してください。



(森さんは写真の最前列中央)

## ＊来年をお楽しみに＊